

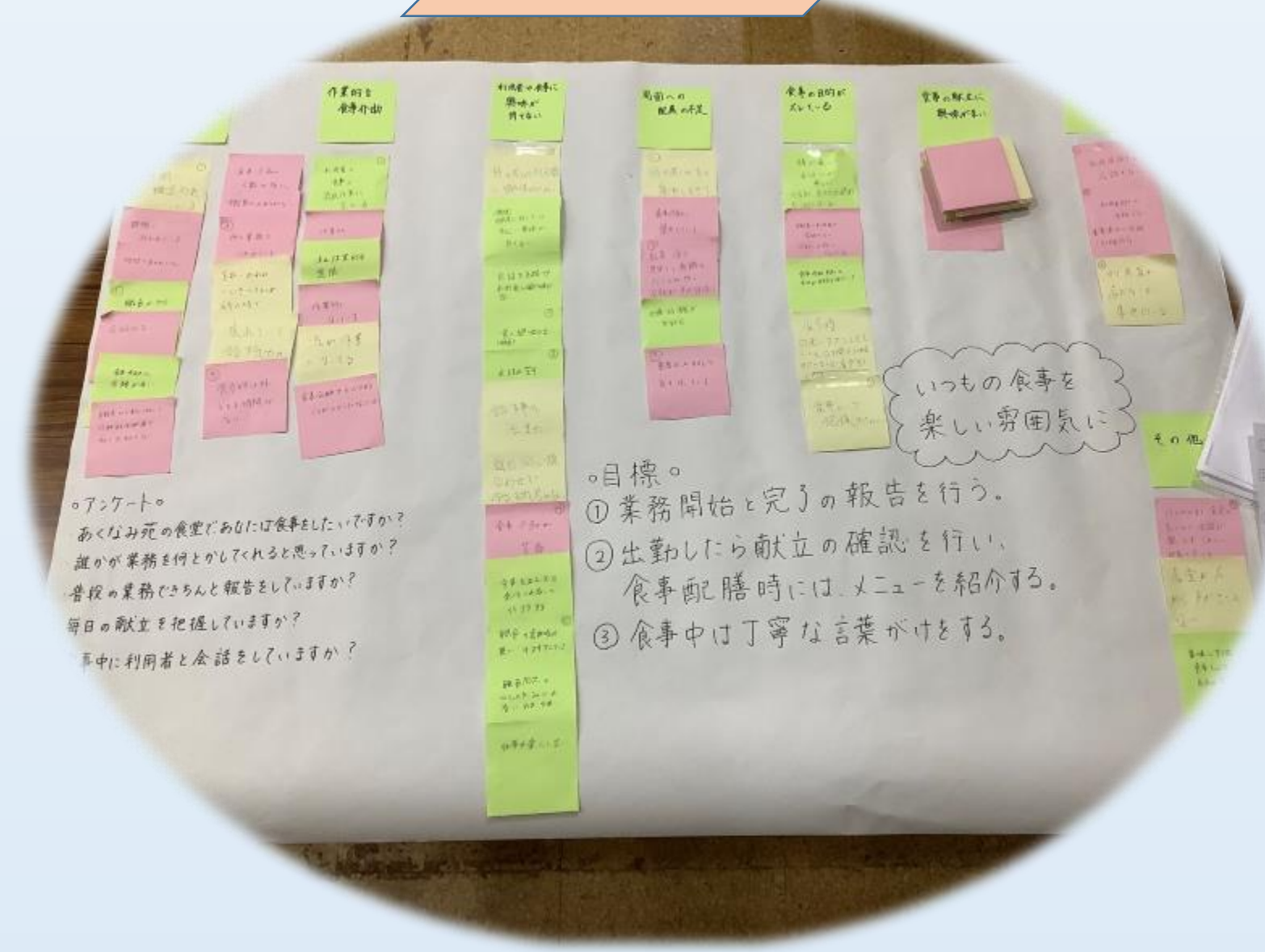
No.6 いつもの食事を楽しい雰囲気

老人総合福祉施設 あくなみ苑
介護リーダー 松本未来・蓮本響流

目的 会話がなく、静かな雰囲気でするのには楽しくないのではないか？
ご利用者に楽しみながら食事をしていただくためにはどうすれば良いだろう？

方法 主任、リーダー職員10名で食事中の問題点や気になる点について
意見を出し合う

意見の集計



- 例えば…
- ・職員の連携不足
 - ・作業的な食事介助
 - ・ご利用者の献立を知らない
 - ・周囲への配慮の不足
 - ・食事の献立に興味がない
 - etc

食事についての意見だけでなく、職員の日々の業務の意識に至るまでの意見

出た意見から、
・職員にアンケート実施
・目標の設定

目標は朝の引継ぎ後
職員で読み上げる

目標

- ・業務開始と完了の報告を行う
- ・食事配膳時にはメニューを紹介する
- ・丁寧な言葉かけを行う

- 1回目〈9月〉事前意識調査
- 2回目〈11月〉目標実施後
- 3回目〈12月〉アンケート実施の目的を告知後

アンケート

食事について

- 1.あくなみ苑の食堂で、あなたは食事をしたいですか？
- 2.毎日のご利用者の献立を把握していますか？
- 3.食事中にご利用者と会話をしていますか？

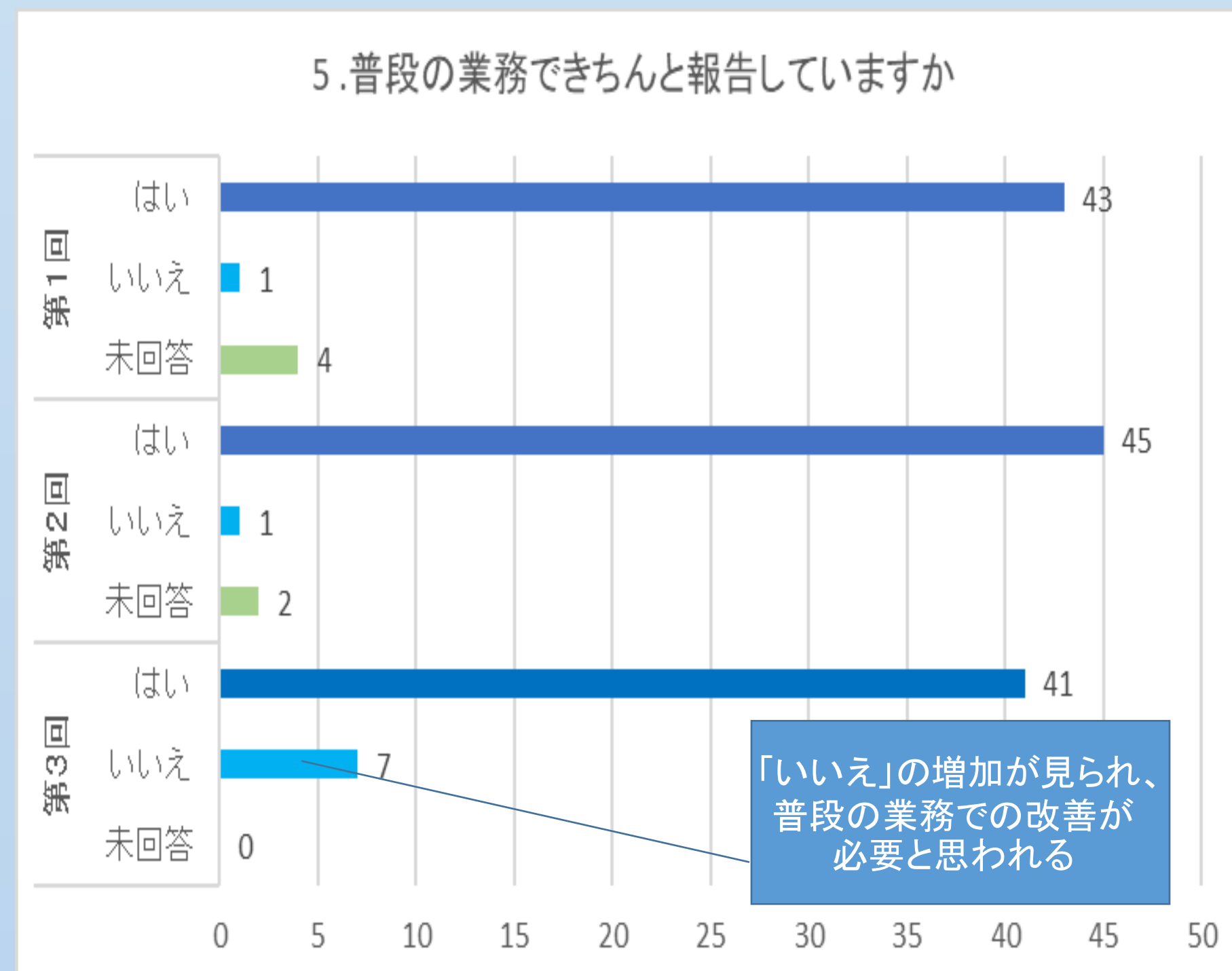
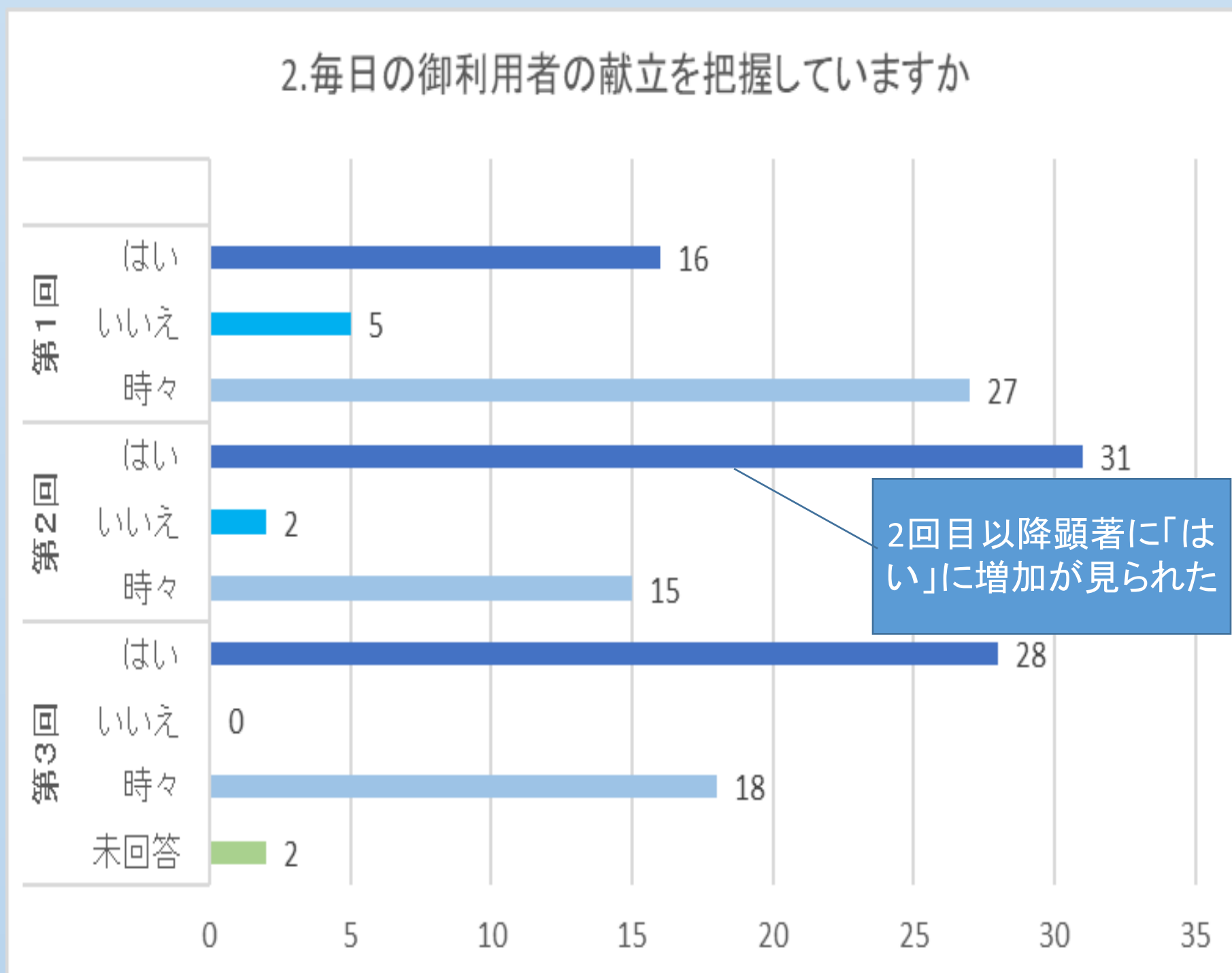
日常の業務について

- 4.誰かが業務を何とかしてくれると思っていますか？
- 5.普段の業務できちんと報告をしていますか？

- ・献立の内容を意識するようになった
- ・新しいメニューの話をするようになった
- ・ご利用者の声にも耳を傾けるようになった



特に顕著な変化が見られたもの



ご利用者と職員の笑顔が増え、静かな雰囲気から明るい雰囲気になったように思われる。



結果 献立を説明するようになった

↓
会話が増える

↓
以前より明るい雰囲気に

しかしながら、、、
職員の業務に対する意識は改善できなかった
「楽しみながら食事をしてもらう」ための方法発見には至らなかった

ご利用者と職員が
共に楽しむことができ
る環境を目指す

課題

- ・職員の業務意識の改善
- ・楽しみながら食事をして頂くためには？

